

働くよろこび、社会参加の輪を広げよう

第45号

会報

# 黄 菊



2019年1月



**公益社団法人八戸市シルバー人材センター**

青森県八戸市類家四丁目3-1 福祉公民館内

電話 0178-44-6448 FAX 0178-44-6478

# 平成三十一年の 新春を迎えて



理事長 前田 洋子

新年明けましておめでとうございませう。

皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、会員の皆様並びに係各位の皆様からの温かいご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当センターでは、平成二十九年に第五次中期計画を策定し、事業の拡大に取り組みで参りました。本年はその最終年度となりますが、会員数、契約金額、就業延人員、就業率の目標達成のため、なお一層のご協力を賜りますようお願い致します。

全国のシルバー人材センターの加入会員数は、平成二十九年

要望に添えていかなければと感じております。

本年も、はちのへシルバー人材センター生き活きまつりの開催やボランティア活動の実施などの普及啓発活動を通じて、地域社会の皆様へシルバー事業の意義をご理解いただき、就業開拓や会員加入促進に繋げていきたいものです。

会員の皆様、関係各位の皆様方のご健勝をお祈りし、また、当センターへのお支えを賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。

度時点で約七十二万人。平成二十一年度をピークに減少傾向にあり、全国シルバー人材センター事業協会では、平成三十年度～三十六年度で会員百万人という目標を掲げ、会員増強運動を展開しております。当センターでは、第五次中期計画の目標を達成することで、全国で掲げるセンター毎の目標会員数も達成できるものと考えております。

生産年齢人口減少に伴う慢性的な人手不足の状況の中、定年を六十五歳まで引き上げる企業や、定年制そのものを廃止する企業が出てくるなど、高齢者が人手不足解消を担う大事な働き手として位置付けられたということではないでしょうか。シルバー人材センターは、更なる会員増強により、こうした社会の

## 事務局職員採用



中村明彦さん (六十三) が平成三十年九月一日付で嘱託職員採用となりました。

趣味は、スポーツ観戦だそうです。

今後、安全推進員として就業現場にお邪魔することがあるかと思ひます。皆様、よろしくお願ひ申し上げます。

公益社団法人  
八戸市シルバー人材センター

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 役員

理事長 前田 洋子  
副理事長 大野 晴治  
常務理事 山谷 哲也  
理事 田畑 紀子

直江 洋一郎  
杉浦 利治  
蟹沢 利元  
近藤 英城  
清川 博子  
松田 利造  
佐々木 豊  
監事 松山 京子

### 事務局

事務局長 山谷 哲也  
業務課主任 西村 龍  
業務課主任 堀内 美佐江  
" 名久井 勇磨  
" 大橋 侑弥  
" 西田 陽平  
庶務課主事 三浦 協子  
" 相内 佑香利  
安全推進員 中村 明彦

# 今年亥年!

干支の由来には諸説あります。



- 亥年生まれには、動物の猪をあらわすように非常に真っすぐで、純粋な方が多いことが大きな特徴です。
- 「亥」という文字は、物事の骨格や核を意味していると言われていました。したがって、干支の最後の年である亥年は、物事の集大成を表すそうです。また、亥を植物の成長過程に例えると、葉や花が散り、次の春まで種の中でじっとエネルギーを蓄える時期にあたるそうです。

今年は、自分自身のスキルアップや体力増強など、内部の充実を心掛けてみてはいかがでしょうか？

さて、今年の年男・年女となる会員の皆様の中から、6名の方々に右記のテーマでお話を聞きました。

- ①趣味、特技、最近のマイブームなど
- ②昨年嬉しかったこと、楽しかったこと
- ③新年の抱負、挑戦したいことなど

## 鈴木 仲男 (是川一班)

昭和十年生まれ

- ①竹垣作りや日本庭園の研究、君子蘭などの観葉植物を育てること。機械や電気機器の分解・修理をしたり、パソコンをいじったりもしている。
- ②娘や姪を手伝うのに仙台と八戸を行ったり来たりと忙しくしていたので、特に思い当たらない。
- ③皆と仲良く元気に過ごし、お客様から喜ばれる仕事がしたい。また、旅行にも行きたい。

## 東 和子 (田向班)

昭和二十二年生まれ

- ①朝早く起きて勉強会に行っている。また、昔やっていた日本舞踊を、数年前に再開した。最近では筋トレも。
- ②息子が、身体のことを気遣って連絡をくれること。冬道は滑るからとタクシー代も送ってくれた。また、私の仕事を応援してくれていること。
- ③猪のように一途に力強く、人の心に寄り添って過ごしたい。また、転倒に気をつけたい。

## 川村 きね (市川三班)

昭和十年生まれ

- ①夏には、自宅の畑で大根やキャベツなどの野菜を作っており、少量だが毎年収穫し食べている。
- ②毎年回数草取りを頼んでくれる知人から、昨年も頼まれたこと。元気なうちは、頑張つて作業していきたい。
- ③おかげ様で、体調も良く病院にもあまり通わずに過ごせている。今年も、健康を維持して仕事を頑張りたい。

## 畑 中 徳房 (吹上二班)

昭和二十二年生まれ

- ①若い頃は、野球やボウリングをよくやっていた。今は、自分で道具を揃えて日曜大工や機械いじりをやっている。
- ②夏に大阪から娘夫婦と孫二人が遊びに来たこと。一週間程滞在し、海水浴をしたり葦毛崎展望台に連れて行ったりと、楽しく過ごした。
- ③事故を起こさないように気を付けて仕事をしたい。また、自分自身も健康で過ごしたい。

## 青田 きよ子 (三八城二班)

昭和十年生まれ

- ①若い頃は、ドライブに行ったり歌や踊りをやったりしていた。今はもうやっていないが、毎朝早く起きて仕事に行く生活を楽しんでいる。また、話好きなので、誰とでもすぐに仲良くなれる。
- ②就業先の方々との関係性も良く、健康で一年を過ごせたこと。
- ③今のところ病気も無く、足腰も丈夫。健康を維持したい。

## 小川 芳一 (湊三班)

昭和二十二年生まれ

- ①海釣りや磯釣り。七十センチ級のヒラメを釣ったことも。他にも、勤めていた会社の労連クラブで行事企画や運営などをやっている。
- ②多くの仲間にも恵まれて一年間過ごせたこと。また、町内活動の運営に携わる機会を頂き、楽しく取り組んでいること。
- ③町内をもっと盛り上げていきたい。また、一日八千歩を目標にして、健康を維持したい。

# 活動紹介ギャラリー

～1年を振り返って～



会員の集い



草刈り講習会



庭木剪定講習会



はちのヘシルバー人材センター生き活きまつり



はちのヘシルバー人材センター生き活きまつり



はちのヘシルバー人材センター生き活きまつり



日帰り研修旅行



日帰り研修旅行

# 活動紹介ギャラリー

～1年を振り返って～



はちのへ菊まつり



はちのへ菊まつり



はちのへ菊まつり



ボランティア活動（東運動公園）



ボランティア活動（新井田公園）



料理教室（彼岸だんご・やなぎばっと）



料理教室（そば打ち）



毛筆筆耕研修会

就業現場紹介

◎社会福祉法人 慶協会

認定こども園こぎくろ保育園  
園内清掃及び  
敷地内景観保全業務

八戸市大久保地区にあるこぎくろ保育園。「恵まれた自然環境の中で、優しい心と逞しい体を育てる」という保育理念のもと、約百二十名の園児が、保育士の方々と友達と一緒に、勉強やスポーツを通して毎日健やかに学習しています。

共働き世帯が増加の一途をたどり、保育・教育施設に対する需要が高まる中、園児の受け入れや保育学習に日々ご尽力されています。

当センターでは、月曜日から金曜日までの五日間を女性会員二名が交代で就業しています。園舎内の掃除機がけやトイレ掃除、タオルなどの洗濯、季節になれば敷地内の草取り作業をし、保育士の方々が業務に専念できるようにお手伝いをしています。

就業中の二名の会員に、お仕事についてお話を聞いてみました。

た。

「元々お掃除の仕事は好きだし、子どもも大好きです。園児たちが元気に体を動かして遊べるように、床の掃除は特に念入りに行なうよう心掛けています。また、最近園の行事で餅つきがあつたのですが、園児たちが楽しそうにお餅を作っている様子を思い出すと、なんだかお掃除するのも楽しくなってきました。」

「二人で交代で仕事をしているので、週二日か三日の勤務です。毎日だと体力的に辛く感じてしまいますが、程よい間隔でのお仕事は適度な運動になるので、健康維持に良いと実感しています。また、私が掃除をしていると、ある園児がいつも『今日もお掃除ありがとうございます。』と声をかけてくれるんです。園児たちの笑顔と優しさであふれた、こんなにも心温まる職場でお仕事ができるなんて本当に嬉しい限りです。」

お二人は、終始楽しそうに、ときおり顔をほころばせながら話してくれました。

これからも、元気で明るい園児たちから笑顔と活力をもらい

ながら、お仕事に励んでいただきたいと思えます。



園児たちとの様子

◎庭木剪定作業（庭木班）

当センターでは、毎年五月中旬頃から十二月中旬頃まで、除草作業や樹木の剪定、伐採作業などの屋外作業が大変忙しくなります。このような作業には主に、草取り作業を専門とする女性会員の皆さんや、公園班・草刈班・庭木班といった職群班に所属する男性会員の皆さんが当たっています。今回は、職群班の中の庭木班についてご紹介します。

庭木班は、現在三十二名の会員で構成されており、実際に剪定作業を行う庭師が二十九名、剪定作業後の残材（剪定した枝

などのゴミ）を回収するトラック部隊が三名となっています。また、班長と副班長がそれぞれ一名ずつ置かれています。庭木班の会員の最年長は八十三歳、最年少は六十一歳で、平均年齢は七十二・二五歳と、センター全体の平均年齢を少し上回っています。

庭木班が就業する現場は、主に一般家庭の庭です。したがって、二十九名の庭師が一緒に就業するのではなく、二〜四名の組に分かれて、各地区でそれぞれ就業しています。企業や公園などの規模の大きな現場では、複数の組が合同で就業することもあります。

就業の流れとしては、①現場の下見及びお客様との打ち合わせ、②見積り、③作業、④残材の回収が主なものになります。お盆前の辺りは特に忙しくなるため、雨天時や就業の前後など時間を見つけて下見を進めています。

庭木班班長の竹林長造会員は、平成十六年の入会以来、約十四年間庭師として就業してきました。平成二十六年には副

## 就業現場 作業時は安全帽・安全ベルト・命綱などを着用しましょう。



ツツジの刈り込み作業中の様子

班長に就任、翌年には班長に就任しました。「会社勤めしていた時は、全く違う仕事をしていました。庭木班に入ったばかりの頃は分からないことばかりで、先輩方の手伝いや片付けしかできなかつたが、先輩方の指導の下、一つ一つ仕事を覚えこまてやってこれた。今では、この十四年間で培った知識と経験に自信を持って仕事をしている。」と竹林さんは話します。また、「高所作業があったり、刃物を使用したりなど危険が多い仕事なので、安全対策を徹底し、日々細心の注意を払っている。お客様とは打ち合わせを密に行い、要望にしっかりと応えられるよう努めている。」とのことでした。



松の剪定作業中の様子

た。庭木班に入ってから九年目を迎えて、現在は副班長を務める小坂政雄会員は、「お客様に納得してもらえようという仕事をしよう、常に心がけている。」と話していました。

お二人とも、「庭木班の仕事はとても楽しく、やりがいがある。大変だ、嫌だと思ったことは一度も無い。」とのことでした。真夏の炎天下での作業や、秋冬の冷たい風が吹く中での作業など、体力的にきつい部分もありますが、お客様に満足していただけたときには、疲れも吹き飛ばすのではないのでしょうか。

皆さんには、これからも健康で頑張っていたいただきたいと思えます。

## シルバー人材センターでは会員を募集しています！



シルバー人材センター  
マスコットキャラクター  
『チエブクロー』

八戸市内にお住いの概ね60歳(55歳)以上で、健康で働く意欲のある方のご入会をお待ちしております。

- ・退職したがまだまだ現役！
- ・働けるうちは働きたい！
- ・仲間や友人を作りたい！
- ・社会参加し、生きがいを見つけたい！
- ・健康維持・体力増進を図りたい！ など

豊富な知識と経験をセンターで活かしませんか？  
ご入会をご希望の方、または話だけでも聞いてみたいという方は、下記までお問い合わせください。

### 公益社団法人八戸市シルバー人材センター

八戸市類家四丁目3-1 福祉公民館内

電話 0178-44-6448

FAX 0178-44-6478

会員の  
皆様へ

奥様やご主人、お知り合いの方のご入会もお待ちしております！是非、ご紹介ください！

**グラウンドゴルフ大会**

第三十一回会員互助会グラウンドゴルフ大会が、昨年七月十四日に新井田公園にて開催されました。総勢四十三名の会員が参加し、総合優勝には飯田道子会員が輝きました。



真剣な表情でプレーしています！

**料理教室**

昨年は、一月に豆しときとひつみ作り、九月に彼岸だんごとやなぎばつと作り、三月・六月・十二月にそば打ち体験が行われました。講師の方の説明を聞きながら協力して作り、最後には皆でおいしくいただきました。毎年参加して下さる方も多く、とても好評です。

**菊まつり**

昨年十月三十日～十一月四日に開催された、第四十七回はちのへ菊まつりに参加しました。十月三十日のオープニングでは、踊り同好会すみれ会の皆さんが流し踊りを披露して下さいました。気温が低くあいにくの空模様ではありませんが、寒さを感じさせないほどの活き活きとした踊りでした。

十一月三日には、ステージ発表が行われました。オープニングとは打って変わって天候に恵まれ、気持ちの良い秋晴れの空の下、会員有志による歌や踊りが披露されました。また、会員の皆さんが育てた菊花が展示され、会場を彩りました。



きれいに咲きました！



熱のこもった演技でした！

**はちのへシルバー人材センター 生き生きまつり**

昨年六月二十四日に、八戸ポータルミュージアム「はっち」とはちのへホコテンにて、はちのへシルバー人材センター生き生きまつりが開催されました。踊り同好会すみれ会の皆さんには、オープニング時にステージで踊りを披露していただきました。ステージ発表は新たな試みでしたが、とても盛り上がりました。

手作り同好会「わ」の会の皆さんには今年もご協力いただき、手作り作品の展示販売をしていただきました。衣類や小物など多数の鮮やかな作品が展示され、会場が明るくなりました。グラウンドゴルフ同好会の皆さんには、今年もグラウンドゴルフ体験コーナーを担当していただきました。好天に恵まれ、お子さんをはじめ多くのお客様に来ていただきました。

**ボウリング大会**

新春ボウリング大会が、来る二月二十一日に開催されます。多数の申込お待ちしております。

**同好会会員募集中！**

☆卓球同好会 さくら会

【日時】毎週木曜日 一八時三〇分～二〇時三〇分  
【場所】大館公民館

☆手作り同好会 「わ」の会

【日時】毎週木曜日 九時～一五時  
【場所】八戸地域職業訓練センター

☆踊り同好会 すみれ会

【日時】毎週水曜日 一三時三〇分～一五時三〇分  
【場所】八戸地域職業訓練センター

☆名所めぐり同好会

【日時】不定期  
【場所】行事による

☆ボウリング同好会 「シルバークエスト倶楽部」

【日時】毎週火曜日 一〇時～  
【場所】ゆりの木ボウル

☆グラウンドゴルフ同好会

【日時】①四月～一月 毎週水曜日 一三時～一六時  
②一二月～三月 毎週金曜日 一三時～一五時

【場所】①新井田公園

②八戸市属トレーニングセンター

## 気象のあれこれ

### ★観測編

#### 八戸市のアメダス

##### どこにあるの？

気象に関する情報は、テレビやラジオはもちろんのこと、携帯電話でも気温や日照時間（晴れか曇りかの判断）、風向と風速等の最新情報を確認できるよ  
うになりました。雨雲の動きがわかる気象レーダーエコーの動画も手軽に見ることが出来ます。

では、八戸市のアメダスはどこにあるのか。陸奥湊駅の近くには「館鼻公園」という公園があり、現在は綺麗に整備され公園内には市内の街や海をぐれつと（八戸の方言で全部という意味）見渡すことのできる展望台「グレットタワーみなと」が建っています。観光スポットとしても紹介されていますね。以前この公園には八戸観測所（気象庁管轄）があつて、職員が常駐し日夜気象観測を行なっていました。現在は気象庁の無人観測施設として、芝生を張りつめた自然な形で観測に影響がないよう立ち入り防止フェンスで囲ん

で配置しています。これが、八戸市のアメダスです。

さて、ここ数年は大型台風の接近や上陸による災害が多発していますね。平成二十九年九月十八日には、台風第十八号が接近し青森県内は暴風域に入りました。この時、八戸市では最大瞬間風速四十一・七メートルを観測しました。この記録は、八戸市で観測が開始された昭和二十六年以降最大となります。ちなみに、瞬間風速四十メートルは、身体を四十五度くらい前に傾けないと倒れてしまうほど強い風だそうです。このように、風を観測する装置「風向風速計」は、地形などの影響を受けないとされるグレットタワーの一番てっぺんに設置されています。機会があれば見てみてください。



グレットタワーみなと

### ★防災編

#### 春一番のない八戸市

春先になると、周期的に日本海を北上する低気圧に伴って、強い南風が吹き荒れることがあります。立春（二月四日頃）から春分（三月二十日頃）までの間に強い南よりの風が吹くことと、前日に比べ気温が上昇することを合わせて「春一番」と言われています。

しかしながら、東北地方でこのような強い風が吹く頃には、関東地方ではすでに春二番または春三番が吹いていることから、東北には春一番は無いとも言われています。確かに、立春の頃の八戸市は強い北風の吹く日も多く、まだまだ冬真っ盛りです。三月に入り、晴れて暖かい南風が吹く頃になると、八戸市でもやっとならしさを感じる事ができるのではないのでしょうか。

#### 春先のドカ雪

南から暖かい空気を持ち込む低気圧の接近に伴って、粒の大きい雪が降ることがあります。水分を多く含んだ大粒の雪が降り続くことで、家屋の倒壊や停

電、交通機関のマヒなど、思わぬ災害に発展することが多いとされています。

八戸市の過去の大雪記録としては、昭和五十二年二月十六日の日最深積雪九十二センチが八戸観測所での観測開始以来最高記録となっており、現在でもこれを上回る積雪は観測されていません。

### ★季節編

#### 春の便り 桜の開花

三月に入ると、沖縄や九州地方から桜前線の便りを聞くようになります。現在、気象庁で桜の開花を観測及び公表しているのは地方気象台が置かれているところのみで、青森県においては、青森地方気象台が公表しています。（桜の名所や観測地を持つ自治体では、独自に観測し公表しているところもあります。）

八戸市の桜の標準木は、館鼻公園にあります。過去には八戸観測所で観測していましたが、八戸観測所が廃止された平成二十年四月からは、市民団体の「館鼻公園の桜を観守る会」が引き継いで観測しています。

コラム

忘れられない猫の思い出

テレビでは様々な動画が流れるが、どれも理屈ぬきで面白い。その中でも、感動した猫の動画がある。家の前で三輪車で遊んでいた子どもを、中型犬が襲っている。子どもは泣いている。すると、犬に体当たりした黒い物体がある。物体としか見えないうほどの勢いだ。犬は驚いて逃げ去り、それを黒い猫が見ている。正に忠犬ならぬ忠猫であるが、残念ながら忠猫という言葉は広辞苑にもない。猫派の人々からハラスメントではないかと思われる程の猫の行動であった。

石油や灯油のない頃で、学校では石炭ストーブだった。庶民は皆薪ストーブで、冬になると、ストーブの側で暖を取っている私の膝の上にもいつも乗ってかっってきた。夜になると、母はいつもアンカを入れてくれたので足元は温かく寒い思いはしなかったが、その猫はいつも決まって私の枕元で鳴いた。私が蒲団を上げてやると、そっと入ってくる。一人と一匹の冬の物語だ。

私は犬派・猫派を問われれば、両方好きである。しかし、度を過ぎたというか無茶苦茶な可愛いがり方はしない。動物特有の病気を心配するし、極端な話、キスをして細菌に侵され手足の細胞が局部的に壊死して、両足、左腕を切断した事例がある。けれど、そういうことをしている人達を否定はしない。

私は、学業を終え八戸に就職した。そして盆と正月は休みが取れば帰郷する。ある年の盆に、帰郷した私の膝に相変わらず猫は乗ってくる。私は母に聞いた。「チャペ（猫の名前）は今でもネズミを捕るの？」捕るよ、と母は言った。

夜になり、夏だから猫は蒲団に入ってくることはなかったが、翌朝、枕元を見てびっくりせずにはいられなかった。ネズミの死骸があるではないか。頭の中が真っ白になった。母に言うとき、チャペは人の話を聞いているという。言葉を話せないだけだという。現実を見せつけられても納得できない。

しかし、「AI」が進歩し人類さえも管理しかねない現実。近い将来きつと、犬・猫・カラスなどの翻訳機ができるにちがいない。それが、人類にとつて幸か不幸かは別問題であろう。

(記 勝野司)

八幡班	杉本 忠雄様
柏崎班	類家 徳三様
下長二班	高松 久榮様
河原木三班	坂本 良一様
白銀一班	高野二三秋様
三八城一班	橋本 俊二様
売市班	中村 留三様
長者二班	久保道敏雄様
吹上二班	北條 功様
長者一班	金澤 孝志様
石手洗班	中村 由雄様
是川一班	林崎 一雄様

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

表紙について

市内の景色を楽しめるリゾートうみねこ。車体の青とオレンジは、海・空・太陽をイメージしています。(撮影 畠山勝則)

編集後記

皆様、明けましておめでとうございます。

さて、今年五月一日には、約三十一年続いた平成から新しい元号へと改められます。ここ最近、「平成最後の〇〇」という言葉をよく耳にしますが、皆様は、平成最後の元旦をどのように迎えられたでしょうか。

平成という元号は、中国の歴史書に記されている「地平天成(地平から天成る)」と「内平外成(内平かに外成る)」の二つから引用されたらしいです。「天地、内外ともに平和が達成される」という意味だとのこと。

新しい元号には、どんな思いが込められるのか。そんなことを考えながら、残り少ない平成を有意義に過ごしたいものです。

以上、平成最後の黄菊でした。(普及啓発委員一同)